

■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③数地内の緑化	
3.9	1.0	<div>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</div> <div>0.0 %</div> <div>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</div> <div>0.0 %</div>
②資源の有効活用	④地域材の活用	
3.2	1.0	<div><外装材に使用した地域性のある材料></div> <div>なし</div> <div><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></div> <div>なし</div>

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
村田機械(株) 犬山事業所 G07工場

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		重点項目						評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質													2.5
Q1 室内環境													-
1 音環境													-
1.1 室内騒音レベル								3.0	-	-	-	-	-
1.2 遮音								-	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能								-	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能								-	-	-	3.0	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								-	-	-	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								-	-	-	3.0	-	-
1.3 吸音								-	-	-	3.0	-	-
2 温熱環境								-	-	-	-	-	-
2.1 室温制御								-	-	-	-	-	-
1 室温								3.0	-	-	-	3.0	-
2 外皮性能								3.0	-	-	-	3.0	-
3 ゾーン別制御性								3.0	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御								3.0	-	-	-	3.0	-
2.3 空調方式								3.0	-	-	-	3.0	-
3 光・視環境								-	-	-	-	-	-
3.1 昼光利用								-	-	-	-	-	-
1 昼光率								3.0	-	-	-	3.0	-
2 方位別開口								-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備								3.0	-	-	-	3.0	-
3.2 グレア対策								-	-	-	-	-	-
1 昼光制御								5.0	-	-	-	3.0	-
3.3 照度								3.0	-	-	-	3.0	-
3.4 照明制御								3.0	-	-	-	3.0	-
4 空気質環境								-	-	-	-	-	-
4.1 発生源対策								-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質								3.0	-	-	-	3.0	-
4.2 換気								-	-	-	-	-	-
1 換気量								3.0	-	-	-	3.0	-
2 自然換気性能								3.0	-	-	-	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮								3.0	-	-	-	3.0	-
4.3 運用管理								-	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視								3.0	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御								3.0	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能								-	-	0.43	-	-	3.4
1 機能性								-	-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ								-	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性								3.0	-	-	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応								3.0	-	-	-	3.0	-
3 バリアフリー計画		独自						3.0	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性								-	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観 (天井高)								3.0	-	-	-	3.0	-
2 リフレッシュスペース								3.0	-	-	-	-	-
3 内装計画								3.0	-	-	-	-	-
1.3 維持管理								-	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計								3.0	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保								-	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性								0.5	3.1	0.52	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振								0.4	3.0	0.48	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)								3.0	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能								3.0	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数								0.3	3.5	0.33	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数								-	3.0	0.23	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②						-	3.0	0.23	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								-	5.0	0.09	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								-	4.0	0.08	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								-	5.0	0.15	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔								-	3.0	0.23	-	-	-
2.4 信頼性								0.1	2.7	0.19	-	-	-
1 空調・換気設備								3.0	3.0	0.25	-	-	-
2 給排水・衛生設備								3.0	2.0	0.25	-	-	-
3 電気設備		②						3.0	3.0	0.25	-	-	-
4 機械・配管支持方法								3.0	3.0	0.25	-	-	-
5 通信・情報設備								3.0	-	-	-	-	-

床:コンクリート金コテ押さえ+塗床、壁・天井:素地
屋外露出ダクト:ステンレス、屋外排気・給気ダクト:SUS鋼板
給水B、雑排水B

床:コンクリート金コテ押さえ+塗床、壁・天井:素地
 屋外露出ダクト:ステンレス、屋外排気・給気ダクト:SUS鋼板
 給水B、雑排水B

3 対応性・更新性			0.4	3.8	0.48	-	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり		1F: 8.5m、2F: 吹抜、3F: 8.9m	-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 0.063	3.0	5.0	0.40	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.6	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性	②	外壁表し	-	3.0	0.19	-	-	-	
2 給排水管の更新性		外壁表し	3.0	5.0	0.19	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	5.0	0.13	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	-	-	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.25	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出	独自③		-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④		-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.49	3.0	5.0	0.63	-	-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	2.8
1 水資源保護			0.1	3.0	0.15	-	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	-	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.8	0.63	-	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	②	-	3.0	1.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	独自		3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	配線はラック、配管は外壁表しのため露出	3.0	4.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率76%	-	3.9	0.33	-	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			0.3	2.7	0.33	-	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止		ガス給湯器無し	-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.0	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制	独自		-	1.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音	独自		-	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動	独自		-	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	3.2
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.8	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式
 各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$
 重点項目スコア=

④地域材の活用
 重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 村田機械(株) 犬山事業所 G07工場

計画上の配慮事項	
総合	既存建物に合わせた計画とした。
Q1 室内環境	対象外。
Q2 サービス性能	メンテナンスに配慮し屋根までの点検階段を設置した。
Q3 室外環境(敷地内)	既存建物に合わせた計画とし、周囲に調和するものとした。
LR1 エネルギー	運用管理体制について基本方針が計画されている。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別できるようになっている。
LR3 敷地外環境	建物間を適度に離し、通路を設けることにより風の通り道を遮らないようにしている。
その他	